

国家戦略特区ワーキンググループ ヒアリング（議事録）

（開催要領）

1 日時 令和元年5月13日（月）17:36～17:47

2 場所 永田町合同庁舎7階特別会議室

3 出席

<WG委員>

座長 八田 達夫 アジア成長研究所理事長

大阪大学名誉教授

委員 秋山 咲恵 株式会社サキコーポレーションファウンダー

委員 阿曾沼 元博 医療法人社団湊志会瀬田クリニック代表

委員 中川 雅之 日本大学経済学部教授

<自治体>

乾 眞誠 大阪府政策企画部戦略事業室特区推進課長

浅田 英里子 大阪府政策企画部戦略事業室特区推進課主査

<事務局>

森山 茂樹 内閣府地方創生推進事務局次長

蓮井 智哉 内閣府地方創生推進事務局参事官

山本 哲也 内閣府地方創生推進事務局参事官

（議事次第）

1 開会

2 議事 平成30年度の大阪府の取組に係る評価について

3 閉会

○蓮井参事官 お待たせしました。

それでは、3コマ目の大阪府でございます。御提出いただいたフォーマットの資料については公開可ということでよろしゅうございましょうか。

○乾課長 はい。

○蓮井参事官 それから、本日の議事の内容についても公開可ということでよろしゅうございましょうか。

○乾課長 はい。

○蓮井参事官 それでは、八田座長、よろしくお願いいたします。

○八田座長 お忙しいところ、お越しくださいましてありがとうございます。

それでは、早速、御説明をお願いいたします。

○乾課長 大阪府でございます。

政策企画部戦略事業室特区推進課長の乾でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、資料に沿いまして説明をさせていただきます。

まず、平成30年度活用メニュー及び新規提案についてでございます。

活用メニューといたしまして、①から⑬まで挙げておりますが、これは大阪府で活用したメニュー全てになっておりまして、このうち、平成30年度で活用したメニューについては2件となっております。1件目が、③設備投資に係る課税の特例のジーンデザインに係る部分となっております。2件目が、⑬児童福祉法の特例（国家戦略特別区域小規模保育事業）、堺市に係る部分でございます。

新規提案につきましては、⑭とありますが、ビル用水法の特例で、大阪市に係る部分で昨年8月に提案させてもらっています。平成30年度は活用メニュー数3件、認定事業数3件ということで、先程説明しました2件という部分と差が生じておるのですが、これは八尾市の旅館業法の特例の部分で、中核市移行に伴うもので実施主体になったことで、区域計画を変更したものとなっております。これを合わせますと、活用メニュー、認定事業数3件になります。

平成29年度の活用メニュー数、認定事業数につきましては2件となっております、大阪市に係る公立学校運営の民間開放に係る学校教育法等の特例と、大阪大学医学部附属病院に係る革新的な医薬品の開発迅速化となっております。

続きまして、自己評価でございますが、評価できる点といたしましては、これまでの部分になるのですが、①の保険外併用療養に関する特例、⑤の保育士資格に係る児童福祉法等の特例、⑥の特区医療機器薬事戦略相談、⑨の土壤汚染対策法施行規則の特例、⑫の革新的な医薬品の開発迅速化、⑬の国家戦略特別区域小規模保育事業を全国で初めて活用したというところ。それと、⑦の旅館業法の特例につきましては、順調に施設数は増加しているといったところになると考えております。

課題といたしましては、新たな規制改革の提案をどうしていくかということと、提案中の規制改革の実現の2点を挙げております。

今後の取組方針でございますが、既存メニューの活用・拡大につきましては、病床規制に係る医療法の特例の活用に向けまして、現在、事前協議中となっております。

この他、エリアマネジメントに係る道路法の特例につきまして、市町村などと連携して掘り起こしを行って参ります。

⑧の外国人家事支援人材の受入れにつきましては、実施区域拡大に向けまして市町村と協議を重ねて参ります。

新規提案に向けた検討といたしましては、市町村等の協力を得ながら新たな規制緩和に向けた検討を重ねて参りたいと考えております。

簡単でございますが、説明は以上となります。

○八田座長 ありがとうございます。随分色々と積極的にやっていただいて、ありがとうございます。

それでは、委員の方から御質問をお願いいたします。中川委員、どうぞ。

○中川委員 御質問というよりは、もしもコメントをいただけるのであればですけども、旅館業法につきまして順調に施設数が増加しているということで、特区民泊だけではなく、民泊自体が現場ではうまく行っていないという話を聞くことのほうが私は多いのですが、特区民泊についても別の自治体のほうからあまり進んでいないという評価を聞くこともありまして、同じ特区を使っているもううまく行っている場合と、うまく行っていない場合があるときに、うまく行っている場合の取組ですとか事例とか、あるいは住民の環境が違ってくるかもしれませんが、そういったうまく行っていることの経験とか原因を共有することが特区全体の成功に結び付くのかなという気がしますので、できれば、大阪府のほうから何でそうなっているのかとか、それは我々のほうで探し出さないといけないことなのかもしれませんが、うまく行っていることの理由とか取組とかいうものがあれば、全国的に共有をすることが望ましいのではないかという気がしております。

○乾課長 分析をしているということではないのですが、元々外国人の旅行客が多いというところで、宿泊施設が不足していたという部分が大きなところかと私個人としては思っておるところでして、もし、今後他の自治体と共有できる事例等ございましたら共有させていただきたいと考えております。

○八田座長 特区民泊と、全国民泊とはどっちが伸びているのですか。

○浅田主査 新法のほうに180日の制限があるということで、そういう意味では、特区民泊を使うという声が多いのは聞いておりますけれども、まだ、具体的には関係市町村とか担当課ともう一回確認をして、その辺の分析をしていきたいと思っております。

○八田座長 それでは、秋山委員、どうぞ。

○秋山委員 単刀直入に、5年間この特区制度を活用されてきて、大阪府から見て良かったことは何ですか。

○乾課長 やはり複数のものが実現したということで、今の特区民泊でも施設数が増えているということもありますし、そのあたりは特区としての取組の成果があったところかなと。あとは、健康医療分野につきましても、実際にメニューを活用している事例もありますので、特区があるから出来ている部分もあるのではないかと思っております。

○八田座長 阿曾沼委員、いかがですか。

○阿曾沼委員 医療の観点で、大阪大学を中心に相当アグレッシブに色々な提案があって、それなりの成果も上げられていらっしゃると思うのですが、できれば今後、医療分野における特区の活用を全国的に促進するために大阪大学を中心として、大阪でどんな成果があったかとか、どんな形で推進しているかということが、何らかの形できちんとアピールできるといいなと思います。

特に、保険外併用だとか、PMDA-WESTを使って色々早期の申請に向けた戦略相談を活性化

するということをやってこられたと思うのですが、その成果について、具体的な訴求が必要だと思います。大きく進展したことがアピールできて評価ができるといいなと思います。

○乾課長 今おっしゃったように参考となる事例がございましたら、先程の民泊もそうですけれども、情報共有をしていきたいと思っております。

○八田座長 何か本でも出来て、色々な経験がちゃんと書いてあると、役に立つと思います。ファクトだけでもいいと思います。そうしたら、他の人がそれを使って面白いストーリーにもできるかもしれません。

他にございますか。

それでは、非常に積極的にやっていただいているので、益々続けていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。ビルの用水のことなどはうまく行くと良いですね。

○蓮井参事官 あの件は間もなく省令改正の案が整ってパブリックコメントが実施されると思います。

○八田座長 素晴らしい。

どうもありがとうございました。

○蓮井参事官 秋山委員は御存じないかもしれないのでちょっと申し上げますと、要するにビルに地下水を吸い上げると地盤沈下したというものがあるのですけれども、水は戻して温度だけ活用しますと。

○八田座長 温度だけを使って、その後は水を戻すというわけですね。

○蓮井参事官 地下水ですから安定していますので、要するに夏の冷房コストの削減になるということもあって、それをやるに当たって、吸い上げるところだけ蛇口の制限みたいなものがございまして、そこを緩和しますということでございます。

これは、実証事業を環境省とも実施して活用していただいているもので、そういう実証ができたところから順次やっていきますと整理しまして、省令が間もなく改正でございます。これはおそらく地盤沈下に悩んでいる地域には共通に活用できる余地もあります。

○秋山委員 何か他にもニーズはありそうですね。

○蓮井参事官 先程も話にありましたが、なるべくシェアをする形で、我々もこれは重要だと思います。

○八田座長 発信するのに御褒美がないとまずいですね。

○蓮井参事官 先程の本というのは、この後来られます養父市がやっておられました。

ありがとうございました。

○八田座長 どうもありがとうございました。